



▲インフォメーションを見入る生徒(花園中学校)



▲木材を使った温かい雰囲気の校舎(榛沢小学校)

## 小柳教育長「深谷の教育を語る」

——深谷の子どもたちが、どのようにつながっていくのか。

●小柳教育長 子どもたちは、夢を叶えることをもち、夢を叶えること、夢を叶える人になることを目指してほしい。変化の激しい社会を生きていくためには、

人は、「夢」を抱き、これを「こころざし」として掲げ、自分の人生を歩んでいきます。その道は、山あり谷ありの連続ですが、自分を励まし、友を思いやり、社会

の中で助け合いながら、「夢」の実現に一歩一歩近づいていくのです。市は、こうした子どもたちの自立と成長を手助けしていきます。

——渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育をどう進めたいですか。

●小柳教育長 昨年度、学校教育振興懇談会を立ち上げました。PTAなどと協議を重ね、渋沢栄一翁の「立志の精神」・「忠恕の心」を受け継ぐ「青澁字の郷づくり」事業の

推進など、教育の内容と環境の充実を図っています。

例えば、大学生を活用した中学生補習学習「ステップアップレッスン」で基礎学力を身に付けさせ、「こころざし」深谷科学塾・国際塾で伸びる子を伸ばす取り組みを行っています。思いやりの心をほぐすために、「ありがとうの手紙」の募集、地域のかたを指導者とする「まごころ先生」の派遣、栄一翁の生き方に学ぶ「渋沢栄一こころざし読本」の刊行などにも取り組んでいます。

——環境面から見た小・中学校の特色を教えてください。

●小柳教育長 深谷市は、これまでの取り組みにより、他市に例を見ないほど、施設・設備が充実しています。各教室や玄関などには、コンピュータやテレビなどの情報機器が整備されています。これにより、「分かる授業」に磨きがかかり、ホームページや連絡メールなどでの情報も素早く伝わるようになりました。そして、イメージを一新する美しいトイレを整備

しています。

わたしたちは、他者や自然、社会とのかわり、つながりを持ちながら生活しています。その中で、「教育」は自らの生き方について考え、実践していく力を養うために重要な役割を果たしています。

少子高齢化、高度情報化、国際化など、変化の激しい現代において、自立して生きていくためには、学力・豊かな心・健やかな体を基盤とした「生きる力」を身に付けることが最も大切です。子どもたちの自立と成長を保障する「生きる力」をもった子どもたちを育てるため、市は、渋沢栄一翁の「立志の精神」・「忠恕の心」を受け継ぐ教育に取り組んでいるほか、その教育を支える環境づくりを徹底して行っています。

今月の特集では、深谷の教育を率いる小柳光春教育長のインタビューや、渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育、教育環境の整備について取り上げます。

### 【立志の精神】

立志は「夢をもち、こころざしをこころざしとして、忠恕の心、まごころ、思いやり」を意味します。

し、子どもたちのトイレに対する考え方を変えつつあります。さらに、学校の耐震化を進めることも、木材を使って教室や廊下を整備し、安全でしかもぬくもりのある環境づくりが進みつつあります。

教育は、内容と環境が相まってまいります。今後とも、小島市長とよく話し合いつつ、深谷市の教育を充実させていきます。

### ——最後に、保護者のかたへ一言お願いします。

●小柳教育長 昔から、子どもは、家庭でしつけられ、学校で学んで地域で育つ、といわれます。子どもを取り巻く学校・家庭・地域が、これまで以上にその役割をきちんと果たすことも、緊密な連携を図ることが求められてくることを考えています。

そこで、学校応援団など家庭や地域と一体となり、地域に根を張った活動を推進するなど、保護者の皆さんと手を携えて、子どもたちの自立探しの旅を手助けしていきたい、と願っています。



保護者の皆さんと手を携えて、子どもたちの自分探しの旅を手助けしていきたい  
—— 深谷市教育長 小柳 光春

# 高まる教育力 深谷の

## 「内容」「環境」双方からの充実

# 深谷の教育 今を知る



深谷市長 小島 進

## 保護者の目線で環境整備

児童・生徒、そして、教職員の皆さんが、快適で安全な学校生活を送ることができるように教育環境を整備することが、わたしの責任だと考えています。今後も、「保護者との意見交換会」や「中学生との対話会」などを通して、ニーズを把握し、教育委員会・学校・家庭・地域と連携しながら、深谷市の教育の充実に努めます。

**洪** 沢栄一翁の「立志の精神」「忠恕の心」を受け継ぐ教育を推進しています。「夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある子」を育成するため、教育内容・環境の両面から、さまざまな施策を実施しています。重点14項目については、下の通りです。ここでは、特に注目すべき事業について紹介します。

### 8月末までに、小・中学校にエアコンを設置

夏の暑さ対策として、小・中学校の全普通教室436室にエアコンを設置します。中学校については6月末までに、小学校については予定を前倒しして8月末までに、整備を予定しています。

### 平成24年度末までに、学校の耐震化率100%へ

子どもたちの安全確保を最優先に考え、小・中学校の耐震化を進

### 県下全市で1番 ICTの整備率

全国に先駆けて、小・中学校のICT（情報通信技術）環境の整備に取り組んでいます。

平成23年3月1日現在の学習用コンピュータ整備率は、児童・生徒数4.3人に1台の割合です。県下全市で1番の整備率となりました。

学校内などの場所からも高速インターネットへのアクセスが可能で、現在、書画カメラや電子黒板などのICT機器を活用した授業が行われています。

# 深谷の教育 明日を知る

## 県内初、中学校に学校総合支援員を配置

校長経験者を中心とした経験豊富な退職教員を採用し、中1ギャップ・虐待などに係る家庭訪問や、保護者への対応をしています。学校が抱えるさまざまな課題の解決に努めているほか、子どもたちの下校時の安全に関する支援や、中学校3年生を対象とした補習学習の支援も行っています。

### 【中1ギャップ】

小学校から中学校に進学したときに、学習内容や生活リズムの変化になじむことができず、不登校になったり、いじめが増加したりする現象をいいます。

### 【こころ】

ここでは、平成24年度以降、深谷の教育の道標となる方向性について紹介します。

### 【1】教師が子ども向き合う環境づくり

新しい教育課程で過密となる時間割を緩和するとともに、子どもたちの冬季下校時の安心・安全を確保するため、各学校の実態に応じて、冬季の6時間目を減らし、代わりに休業日（夏季・土曜日・開校記念日）に授業を行います。

### 【2】深谷市独自の学力アップ作戦

子どもが向上心を持ち、自ら進んで学習に取り組めるよう、算数・数学や英語の学力認定を行います。

### 【3】小中学校の教科担当制への支援

中1ギャップ解消に向けて、小学校高学年を対象に、専門教科担当教師による教科担当制への支援を行います。

### 【4】生徒指導体制への支援

教師と支援員が共同して、個々の子どもへの学校生活全般にわたる親身な支援を行います。

## 重点14項目

- 8月末までに、小・中学校にエアコンを設置
- 平成24年度末までに、学校の耐震化率100%へ
- きれいな校舎で学習意欲アップ 大規模改修工事を実施
- 小・中学校の給食をすべて自校方式へ移行
- 県下全市で1番 ICT（情報通信技術）の整備率
- 研究所を核にした教師の指導力の向上で、学力アップ
- 小学校3年生からの外国語指導手の活用
- 中学校3年生への補習学習



▲希望者が参加する補習学習（豊里中学校）

## 保護者・児童の声



柏坂 明子 さん  
（保護者）

子どもが深谷小学校でお世話になっていますが、深谷の教育に安心して

います。校長先生も子どもたちに目を配ってくださいますし、子どもたちを温かく受け入れてくださっています。

学校・家庭・地域の連携があり、みんなで子どもたちを育てている感じがします。



石川 智貴 さん  
（深谷小学校 6年）

小学校は楽しく、担任の小林先生は、ぼくたちの気持ちを分かってくれる優しい先生です。

4月から、中学生になりますが、特に不安なことはありません。中学校では、部活と勉強を両立したいです。

洪沢栄一翁のように、まごころと思いやりを持ち、社会に役立てる人になりたいです。



▲まごころ先生から栄一翁を学ぶ（藤沢小学校）

- 多彩な課外活動「こころざし深谷科学塾・国際塾」を実施
- 保幼小中高の緊密な連携による教育の「なめらかな接続」
- 県内初、中学校に「学校総合支援員」を配置
- 学校問題サポートチームを設置
- 洪沢栄一翁の心を伝える授業「まごころ先生派遣」を実施



（14）「洪沢栄一こころざし読本」刊行